

MESSAGE 2017年入学 経営学系(現経済経営学部)経営学コース 宮田 海斗

出願のきっかけ

高校在学中1年間のアメリカ留学を経験したことから、英語で学習することの面白さを実感し「留学プログラムのある大学」を検討したことがきっかけです。一方で、国際社会に特化した学部ではなく、経済経営に関して学習したいと考えていたので、「留学を副専攻制度で支援」してくれる本学への受験を選択しました。

入学後の印象

常に「刺激」を受けられる環境だと実感しています。特殊な経歴を持つ生徒が多く、入学5年目の今でも彼らの発想や語学力、知識などに圧倒される日々を過ごしています。

授業の感想

魅力的なところは、「密度の濃い留学準備プログラムを受けられること」です。一般的な交換留学の準備とは異なり、ディスカッションの多い実践的な授業を少人数で受けることで、生徒に割り当てられるフィードバックが多いことが特徴的です。留学に対して不安を抱く方でも、安心して準備に取り組むことができます。

留学生活で学んだこと

自分の意見を伝える以上に「相手の意見を汲み取ること」を学んだと実感しています。

一般的に留学は主体性の重要性を学べる一方で、多様な人々と何かを共創する大変さも実感できる環境でした。こうした環境では順応していく力が必要で、日本ではなかなか体験できない貴重な学びだったと感じています。

就職活動の状況

現在は「日本と海外の掛橋になりたい」とざっくりしていますが、業界問わず広い視野で取り組んでいます。また、将来は海外で勤務したいと考えており、将来につながるスキルが得られる業界の選択をしています。

受験生に向けてのメッセージ

ご覧になっている方の中には、留学に対する憧れと不安を抱いている方もいらっしゃると思います。不安の形は様々だと思いますが、「先生や先輩など多くの方から時間をかけてサポートしてもらえる」ことがこのプログラムの魅力です。興味のある方はぜひ挑戦していただくと嬉しいです。



MESSAGE 2019年入学 都市環境学部建築学科 黒田 千乃

出願のきっかけ

高校3年生の夏休みに都立大のオープンキャンパスでパンフレットを貰い、国際副専攻コースを知りました。語学スコア要件をぎりぎり満たしていることが分かり、学生のうちに必ず留学したいと考えていたため、出願を決めました。

入学後の印象

周りの英語レベルの高さに圧倒されて、初めは課題や授業内での受け答えなど全て英語で進むことに高い壁を感じていましたが、同期の友達のおかげで慣れ、英語で表現することや英語に触れることに積極的にようになってきているのを感じます。

授業の感想

エッセイの書き方や効果的なプレゼンテーションの方法など、習ったことが副専攻以外の授業にも役立ちます。受講生は育った環境はもちろん主専攻も様々なので、各々の興味の方向が多様です。普段自分から触れることの無いテーマでグループプレゼン

テーションをすることもあり、視野が広がります。

留学生活に期待すること

ドイツ留学を希望しています。実質初めての海外経験となるため不安が少なからずありますが、欧州の美術館や有名建築巡りなど、学業以外の面でも現地ではできない体験をしたいです。

将来の希望

もともと興味があった木質構造について大学院で深く学びたいと考えていましたが、学年が進むうちに興味ある分野が増えてしまい、決めかねています。

受験生に向けてのメッセージ

主専攻に軸を置きながらアカデミックな英語と異文化理解を学べる機会はなかなか得難いと思います。興味ある分野の勉強も留学も両方したい、という方はぜひ受験を検討してみてください。



ADMISSION

2022年度 グローバル人材育成入試(総合型選抜)募集概要(予告)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、今後、変更の可能性があるため、最新の情報は大学公式HPで確認してください。

募集人員

人文社会学部	人間社会学科 2名 人文学科 2名	都市環境学部	地理環境学科 1~2名 都市基盤環境学科 2名 建築学科 2名	環境応用化学科 1名 観光科学科 2名 都市政策科学科 若干名
経済経営学部	経済経営学科 5名	システムデザイン学部	情報科学科 若干名	

出願要件

■ 高等学校(中等教育学校、特別支援学校の高等部を含む。)を2022年3月卒業見込みの者又は2021年4月以降に卒業した者

■ 英語の能力に優れた者で、次のいずれかのスコアを有するもの

・ケンブリッジ英語検定	160以上(※1)
・実用英語技能検定	準1級 2300以上、1級 2304以上(※2)
・GTEC(Advanced, CBT)	1190以上(※3)
・IELTS	5.5以上(※4)
・TEAP	309以上
・TEAP CBT	600以上
・TOEFL iBT	72以上
・TOEIC L&R/TOEIC S&W	1560以上(※5)

[注]スコアの有効期限は出願期日より過去2年以内とする。
(※1)対象となる試験は、B1 Preliminary, B2 First, C1 Advanced, C2 Proficiencyとする。指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。(※2)実用英語技能検定は、指定されたスコアを超えていれば合否は問わない。(※3)GTEC(Advanced)は、オフィシャルスコアに限る。(※4)IELTSは、アカデミック・モジュールによるスコアに限る。(※5)TOEIC L&R/TOEIC S&Wは、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算する。

- 合格した場合、本学への入学を確約できる者
- その他、応募する学科によっては本学の実定する基準以上の学習成績の状況であることを要件とする。
(詳しくは「2022年度グローバル人材育成入試募集要項」をご覧ください)

選抜方法

- 人文社会学部
 - ・第1次選抜 調査書及び志望理由書により書類選考を行う。
 - ・第2次選抜 小論文(日本語による解答)を課し、面接(口頭試問を含む)を行う。大学入学共通テストの受験を課す。(受験科目は前期日程試験と同一)
- 経済経営学部
 - ・第1次選抜 調査書及び志望理由書により書類選考を行う。
 - ・第2次選抜 小論文(英語による解答)を課し、面接(口頭試問を含む)を行う。
※経済経営学部は合否判定には影響しないが、入学後の学業の参考のため大学入学共通テストの受験を課す。(受験科目は前期日程試験(一般区分又は数理区分)と同一)
- 都市環境学部
 - ・第1次選抜 調査書及び志望理由書により書類選考を行う。
 - ・第2次選抜 小論文を課し、面接(口頭試問を含む)を行う。
※環境応用化学科及び都市政策科学科は合否判定には影響しないが、入学後の学業の参考のため大学入学共通テストの受験を課す。
- システムデザイン学部
 - ・第1次選抜 調査書及び志望理由書による書類選考を行う。
 - ・第2次選抜 面接を行い、大学入学共通テストの受験を課す。(受験科目は「数学」(「数学I・数学A」及び「数学II・数学B」)及び「理科※」(「物理」、「化学」、「生物」から1科目選択)とする。)
※第1解答科目を採用する。

お問い合わせ
東京都立大学
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
電話 042-677-1111(代表)
グローバル人材育成入試については、
東京都立大学アドミッション・センター(入試課)まで、
国際副専攻については国際課までご連絡ください。

もっと詳しく知りたい方はWEBサイトをご覧ください。
詳しいカリキュラム、授業内容、在学生のインタビューなどを掲載しています。
東京都立大学 国際副専攻 検索
<http://www.mip.ic.tmu.ac.jp/>

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学
2021年5月発行
発行 東京都立大学 印刷 ニッセイエプロ株式会社

東京都立大学 国際副専攻

グローバル人材育成入試

総合型選抜のご案内

今、本当に必要な
グローバル人材って
どんな人?

詳細は中面へ CHECK IT!

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY
東京都立大学

それは、高度な専門知識をもつグローバルリーダー

国際副専攻コースは、主専攻と並行して履修を進める点に特色があります。たとえ英語が流暢でも、伝える内容がなければ日常会話の域を出ません。逆にどんなに高い専門性を有しても、それを発信するツールを持たなければグローバルに活躍することは困難でしょう。本学では、主専攻で自身の核となる専門知識やスキルをしっかりと身につけ、国際副専攻コースで高度

な語学力やコミュニケーション能力、国際感覚を培うことにより、世界で活躍する人材を育成します。さらに必修である海外留学を通して多様な文化や価値観に触れ、より広くグローバルな視野を獲得できるでしょう。あなたもぜひ、国際社会を担うグローバルリーダーを目指してみませんか。

ABOUT 国際副専攻とは？

通常の学生と同様の主専攻科目の履修と並行して、海外留学が必修のカリキュラム「国際副専攻」の科目を履修し、主専攻の専門知識に加えて、確かなコミュニケーション力や、多様な文化に適應可能な実行力を身につけます。



将来、主専攻で学んだ専門知識を武器に、多様な人材の中でリーダーシップを発揮できるグローバルリーダーをめざす、積極的なみなさんの応募をお待ちしています。

国際副専攻3つの特徴

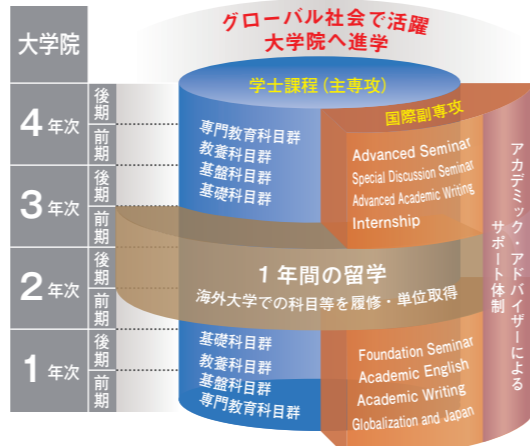
■主専攻で学んだ専門知識を武器に、多様な人材の中でもリーダーシップを発揮できるグローバルリーダーを育成

■少人数教育と国際副専攻アドバイザーによる充実した留学サポート

■1学期間または1年間の留学による単位修得が必須



高度な専門知識 確かなコミュニケーション力や多様な文化に適應可能な実行力



※所属する学科や留学の期間、時期等により、4年間で卒業できない場合があります。

国際副専攻科目(一部抜粋)

留学前 / 国際副専攻を学修するための基礎力と留学に必要な英語力を養成する	
Foundation Seminar	国際副専攻を学修する上で基礎となる授業。異文化に対する理解やコミュニケーション力の向上を目指す。
English for Studying Abroad	海外留学の準備のための総合的な英語学習を行う。
English for Academic Purposes	English for Studying Abroadの学習成果をふまえ、海外留学の準備のための総合的な英語学習を行う。
Academic Writing Skills I	英文によるライティングスキルの基礎力の向上を目指す。
Academic Writing Skills II	Academic Writing Skills Iの学習成果をふまえ、英語による実践的なレポートや論文の執筆方法を学ぶ。
Globalization and Japan	日本とグローバル化に関する事象を多角的視点から理解し、分析のための知識や理論を習得する。

留学中 / 海外留学先大学等における授業科目を履修する	
海外留学認定科目	海外の大学へ留学し、単位を修得(必須)する。

留学後 / 国際副専攻の学修を専門教育やキャリア形成に発展させる力を養成する	
Advanced Seminar	海外留学による学修の成果を発表する。
Advanced Academic Writing	英語による学術論文の執筆について学ぶ。

※留学前または留学後	
Academic Discussion Skills	人文・社会科学、自然科学の各分野で重要な多様なテーマについて、議論、口頭発表などの演習を行う。

STUDY ABROAD 海外留学

海外の大学で単位を修得すること、その経験があなたを育てます。



国際副専攻では、主専攻科目を履修しながら1学期間または1年間留学し、海外の大学で単位を修得することは容易なことではありません。授業のスピードの速さ、膨大な課題に加え、日本人には自分の知らないことを英語で学ぶハンディキャップがあります。しかし、その修羅場を乗り切ってこそ、タフネスさを磨き、多様性に対する許容度と対応力を身に付けることができます。

海外留学の魅力

■多様な協定校から留学先が選べる

アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、オランダ、オーストリア、フィンランド、スウェーデン、ポーランド、ノルウェー、ハンガリー、ロシア、リトアニア、トルコ、オーストラリア、韓国、中国、台湾、タイ、マレーシア、インドネシアなど
※その他、自ら留学先の大学を選んで留学する制度もあります。(ただし、事前に学内で認められる必要があります。)

■留学にかかる各種経済支援制度があり安心して留学できる

- ・国際副専攻を履修しても本学授業料の追加はありません。
- ・交換留学の場合、留学先の授業料は免除されます。
- ・月額給付奨学金、渡航費の支援があります。
- (例) 月額給付奨学金: 6~16万円(派遣地域によって異なる)
- 渡航費: アジア地域→上限10万円、アジア地域以外→上限20万円

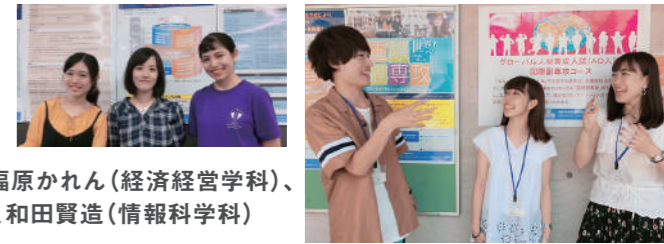
- ・在学5年目授業料免除
- ・交換留学によらない派遣留学の留学先授業料支援
- ※経済支援を受けるには一定の条件等があります
- ※詳細はホームページをご覧ください



Voice from Students 学生インタビュー

■インタビュー参加学生

- 2019年入学 齊藤七海(人間社会学科)、田中美咲(経済経営学科)、福原かれん(経済経営学科)、宮本ジュカダ花(経済経営学科)、江原要(観光科学科)、和田賢造(情報科学科)
- 2018年入学 木村沙弥香(人文学科)、成知香(都市政策科学科)



(聞き手:国際センター嶋内佐絵)

Q 出願したきっかけは？

福原: 高三の時、英検準一級に運良く受かり、留学もしたいし英語も経営の勉強もしたい、と知っていた高校の先生が副専攻を見つけて勧めてくださいました。留学必須で、副専攻の少人数のクラスで英語を使えるというのがいいなと思いました。
和田: おなじく高三時、GTECを受けてみたら学校全体で2位のスコアで、そのスコアを使える入試を探していたときにこの国際副専攻のパンフレットやホームページを見て、得意なことを生かして、やりたいこともやれそうだったので応募しました。

Q 授業を受けた感想は？

宮本: 通常の学部の英語の授業と違い、英語自体を学ぶのではなく、英語を通して別のことを学ぶ。国際副専攻にいなかったら英語を学ぶこと自体が目的になっていたけれど、海外からの視点を取り入れた上で日本の中の問題を学べるのがよかったなど一年を通して思いました。
江原: 授業で扱う内容は知識として自分の中にどんどんインプットされつつ、英語を使ってアウトプットしていくことでその知識を自分の

Q これからの留学に期待すること

田中: 日本にいたら日本人目線の考え方や日本から見た世界しか見えないけれど、留学では色々なバックグラウンドを持った人と話すことで新しい考え方や世界の見方を養えると思っています。
齋藤: 私は留学でジャーナリズムを専攻したいなと思っています。日本よりアメリカとかイギリスの方が発達している学問だと思うので楽

Q 留学を経験して

木村: 副専攻の授業で異文化理解の必要性を学び、留学に臨みましたが、文化を理解するという事は一筋縄ではいかないと強く感じました。上辺だけ肯定は本当の理解じゃないんだと反省しました。最初は誰でも仲良くできるけれど、すこしずつもやもやしたものやはずみが蓄積されていきました。そこを受け入れ、本当の意味で理解するのはとても難しかったです。だからこそ乗り越えていい友達になれたな、と感じた瞬間は本当にうれしかったです。この経験を生かして、自分の視点と相

Q ここで学んだことを将来どのように活かして行きたいか

宮本: 副専攻の授業では、様々な分野のトピックを扱うので、その過程で多様な問題を知り視野が一気に広がったので、自ら調べる習慣がつき、ニュースや新聞、専門家の話にもより耳を傾けるようになりました。自分から色々な情報を吸収する習慣は将来これからはずっと持って行っていきたい。生きる上で大切な習慣だと思っています。
和田: 色々なバックグラウンドがある人たちの中で、自分の考えをいかにわかりやすく、積極的に発信するか、努力して伝える能力は、将

Q これから入学する人へのメッセージ

齋藤: 理系・文系、学部問わず、みんなで一緒に勉強できること、英語や国際的なことに興味がある人たちと積極的な雰囲気の中で学べる副専攻は、他のコースにはない良さがあると思います。勉強が大変になることもありますが、その分、副専攻に入る価値はあります。
宮本: 副専攻は、主専攻や部活などとは別の、もう一つ人と繋がる場所であり、先輩後輩ともやり取りがあって、先生とも距離が近く、

齋藤: 高校は国際教養科という英語を専門的に勉強する学科にいたんですが、英語だけでなく専門を勉強できる場所を探していたので、ちょうど国際副専攻(グローバル人材育成入試)のことを知りました。
木村: 私は5教科8科目で受験勉強する傍ら、詩の朗読を三年間続けていました。詩のボクシングという全国大会で優勝していたこともあり、せっかくなら勉強以外の部分が評価される入試にも挑戦できたらいいなと思って応募しました。

ものにできている感じがします。インプットとアウトプットを両方行えるのがいいところだなと思います。
成: 副専攻の授業の特徴が、少人数での授業だと思います。英語力を鍛えたいという人たちの少人数の集まりなので、みんなモチベーションが高く授業を受ける度にお互いを高めあえる環境だなと思っています。

しみです。
江原: 留学は、異文化交流とか異文化学習のいい機会だと思いますし、海外に行くことで日本を客観視できる機会にもなると思うので、日本をもう一度見直すような機会にしたいなと思っています。

手の視点をしっかり想像しながら課題に向き合えたらなって思います。
田中: カナダでの短期語学留学中に感染症の流行など想定外のことがたくさん起きました。そこで出会った人たちは、国籍も考え方も違ったけれど、一つの事象から感じる事、不安に思うことや悲しいこと、嬉しいことは一緒なんだなということや、人の温かさをすごく感じた23日間でした。日本に帰ってきて自分もそういう人になりたいと思ったし、人間としての成長を感じました。

来どんな職業についても生きてくるものだと思います。いま接客業のバイトをしているんですが、副専攻での経験が活きていて、実際に役に立つんだなっていうのを実感しています。
木村: いろんな学部の人との議論を通して、自分とは違う意見も一回咀嚼して、客観的に考える力が身についたと思います。そのプロセスは苦しいんですが、そういう経験を授業の中ですることができ、能動的に発言してくれる人が授業の中にいるのはありがたいです。

みんなで高めていけるゼミみたいな環境です。留学後の経験の共有もできるし、大学生活を通して、国際副専攻にいるのといないのでは充実度が全く違うだろうと思います。
福原: 副専攻には学部やサークルとはまた別の、お互いを理解し合おうとするとてもアットホームな雰囲気があって、勉強もたくさんできるし、大学生活の中の心の拠り所にもなると思うので、副専攻は本当にオススメしたいです。